

# SPANCRETE CORPORATION

## Investors' Guide IR 2020

会社情報



総合スポーツ施設（合成床）

## 株式会社 スパンクリートコーポレーション

本 社

〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-3

Tel:03-5689-6311 Fax:03-5689-6321

[www.spancretecorp.com](http://www.spancretecorp.com)

**JASDAQ** 〈JASDAQスタンダード・コード 5277〉

# ● みなさまとのコミュニケーションを大切に ●

## インベスターズガイドについて

インベスターズガイドは、株主ならびに投資家のみなさまに、当社の財務内容を正確にお伝えするとともに、みなさまとのコミュニケーションの手段として発行を続けてまいりました。毎年約100通のアンケートの回答をいただき、ご意見の一部を編集に反映させていただいております。今後ともみなさまからのご意見をいただきたいと存じますので、同封のアンケート用ハガキにてお寄せいただければ幸いです。

### ■ 2020年3月期について

当事業年度の当社の業績ですが、スパンクリート事業において、東京オリンピック・パラリンピックに関連する案件への納入は前年度で完了し、物流倉庫などの壁・合成床の他社製品との受注競争激化、北陸新幹線延伸に伴う防音壁の工事の遅れなどに起因し、当初計画した販売数量に大きく及ばず、大幅な減収減益となりました。新たな取り組みとして、岩瀬工場においてプレキャスト製品を試験的に生産・販売しましたが、生産数量が限定的であり、業績への影響はありませんでした。なお、不動産事業は堅調であったものの、結果、売上高3,109百万円（前年度比26.1%減）、営業損失128百万円（前事業年度は239百万円の営業利益）、経常損失106百万円（前事業年度は260百万円の経常利益）、有価証券の一部売却など実施しましたが、当期純利益36百万円（前年度比86.9%減）と減収減益となりました。

### ■ 事業部門別

#### <スパンクリート事業>

当事業は、東京オリンピック・パラリンピックに関連する案件への納入は前年度で完了し、物流倉庫などの壁・合成床の他社製品との受注競争激化、北陸新幹線延伸に伴う防音壁の工事の遅れなどに起因し、当初計画した販売数量に大きく及ばず、売上数量が対前年度比52.7%減少し、売上高は2,794百万円（前年度比28.3%減）、営業損失258百万円（前事業年度は119百万円の営業利益）と減収減益となりました。新たな取り組みとして、岩瀬工場においてプレキャスト製品を試験的に生産・販売しましたが、生産数量が限定的であり、業績への影響はありませんでした。

#### <不動産事業>

当事業は、オフィスビル4棟の賃料収入の他、賃貸中の岩瀬工場の環境整備費用が減少し、売上高315百万円（前年度比1.4%増）、営業利益130百万円（前年度比9.0%増）と増収増益となっております。

### ■ 2021年3月期の業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

新型コロナウイルス感染症の収束時期が不透明であり、業績予想の合理的な算定が困難であることから、2021年3月期の業績予想につきましては、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに公表いたします。

## ひとこと



代表取締役社長

浮田 聡

日ごろより、当社をご支援・ご愛顧いただき、誠に有難うございます。

今般の新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方に謹んで哀悼の意を表しますと共に、現在罹患されている方の早期のご回復をお祈りいたします。

当社の業績は私が社長を拝命した後、3期連続で増収増益を果たしましたが、4期目の第58期（2020年3月期）では当初計画した販売数量に大きく及ばず、経常利益のマイナスを有価証券の一部売却により補い、何とか当期純利益の黒字に漕ぎつけた状況となっております。

第59期（2021年3月期）も新型コロナウイルス感染症の影響で先期に続き苦戦が予想されますが、感染予防対策に留意しつつ、企業価値の向上をはかるべく、中期経営計画の達成にむけ尽力してまいりますので、引き続き宜しくお願い申し上げます。

「重点課題」

1. スパンクリート事業基盤の強化
2. 新たな収益基盤の創出
3. 人材育成・情報化への対応
4. 不動産事業の収益維持

■ スパンクリート事業基盤の強化

スパンクリート製品の売上数量が確保できず、宇都宮工場の稼働率が下がり当期純利益は黒字ながら減収減益

■ 新たな収益基盤の創出

プレキャスト製品の試験的な生産・販売を岩瀬工場において開始

■ 人材育成・情報化への対応

譲渡制限付株式の従業員への付与  
 モバイルシステム、メールシステムの改良実施、  
 テレワークの充実、情報セキュリティの強化

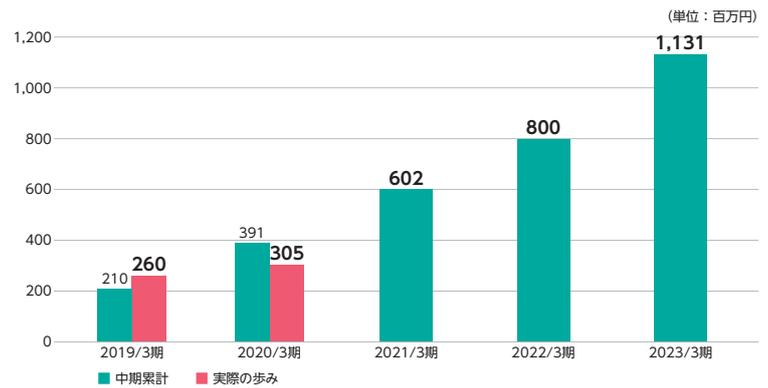
■ 不動産事業の収益維持

賃貸用オフィスビル ほぼ100%稼働を維持  
 築年数が長いビルの買替等を検討

《経営目標（2023年3月期）》

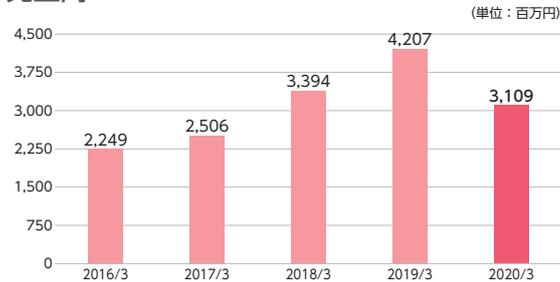
項目	経営目標	2023年3月期	2020年3月期
税引前利益	5年間合計 11.3億円 (当期純利益9.5億円)	3.3億円 (当期純利益2.7億円)	44百万円
自己資本比率	76%	76%	84%
配当額	5年間合計 3.2億円 (配当性向34%)	10円/株	8円/株 (配当性向170.6%)
ROE (自己資本利益率)	4%	4%	0.6%

中期計画期間における年度別税引前利益（累計表示）

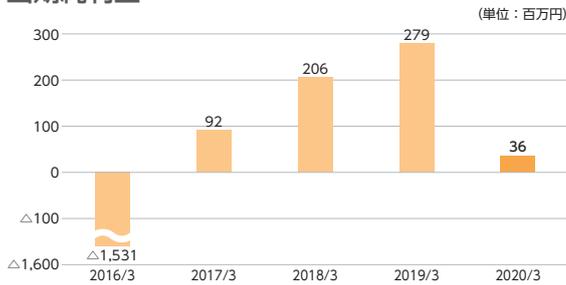


第58期 財務ハイライト（2020年3月期）

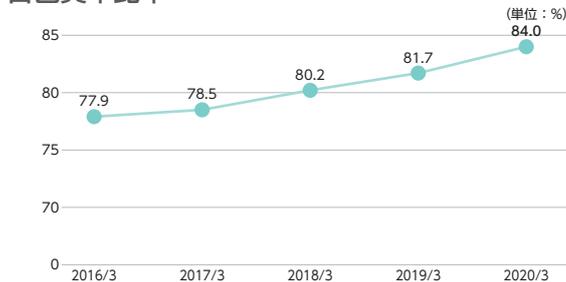
売上高



当期純利益



自己資本比率



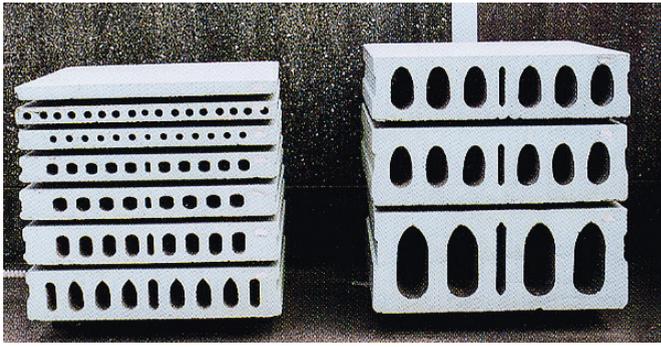
損益計算書

	2019年3月期	2020年3月期
売上高	4,207	3,109
営業利益又は営業損失 (△)	239	△128
経常利益又は経常損失 (△)	260	△106
税引前当期純利益	260	44
当期純利益	279	36

貸借対照表要旨

	2019年3月期	2020年3月期
資産の部		
流動資産	2,892	2,849
固定資産	5,292	4,879
資産合計	8,184	7,729
負債の部		
固定負債	470	417
負債合計	1,494	1,234
純資産の部		
純資産合計	6,690	6,495
負債純資産合計	8,184	7,729

## スパンクリート



スパンクリート標準製品。スパンクリートは縦方向に数個の穴をもち、PC鋼線によってプレストレスを与えられたコンクリート板です。床材として、また壁材として建築から土木まで多目的に使用可能な材料です。厚さ7cmから35cmまで17種類。高耐力、ロングスパンが特長です。当社はスパンクリートの生産・販売を行っております。

### スパンクリートの特長

高強度部材で大スパンに適します



防水性に優れています



防火性に優れています



遮音性に優れています



### 主な実績

〈駅／ホーム〉床板



銀座線渋谷駅では線路切替及びホーム移設の大規模工事を年末年始に電車を止めて実施しました。工事終了後より新しいホームの運用が開始となり、新しいホームは幅が約6mから約12mに拡幅し、ホームの全面にスパンクリートの床板が採用されました。ホーム線路側にはホームドア対応パネルのMスラブを使用しました。

〈防音壁〉壁板



北陸新幹線、金沢～敦賀間延伸工事において防音壁にスパンクリートが採用されています。

写真は福井県の九頭竜川橋りょうです。この橋りょうには線路と並走する自動車道路橋が設置されますが、多雪地域のため冬季間は自動車道路橋に融雪剤の散布が行われます。融雪剤からの塩害を考慮して防音壁内部のPC鋼線には錆防止のためにステンレス製を用いております。

〈宿泊施設〉外壁（デザインパネル チェーン引き）



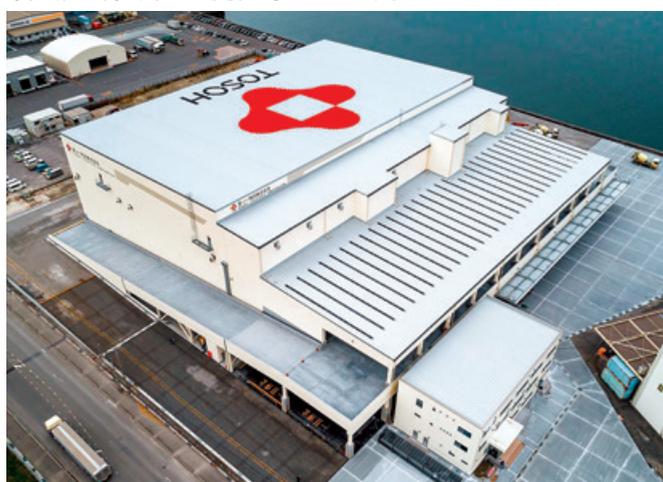
〈文化施設〉外壁（デザインパネル 不均等リブ）



〈某施設〉外壁（タイル貼り カーニバル工法）



〈冷蔵倉庫〉外壁・間仕切壁・合成床



## PCa（プレキャストコンクリート）

バルコニー（タイル貼り）



バルコニー（塗装）



柱



岩瀬工場におけるPCaへの取り組みでは、昨年度出荷した大梁や免震蓋などに加え、大型の柱、化粧柱、手すり壁へのタイル打ち込み、工場塗装を施したバルコニーなど、プレキャスト製品のバリエーションが増えました。今後は更に大型製品製造への取り組みを計画しております。

資料請求、お問い合わせは…

株式会社スバンクリートコーポレーション  
IR担当 武田喜之  
〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-3  
電話 03(5689)6311

制作協力:

株式会社プロネクサス  
営業第2部 大木 整  
〒105-0022 東京都港区海岸1-2-20 汐留ビルディング  
電話 03(5777)3012

## 会社の概要

1. 会社名 株式会社スパンクリートコーポレーション  
(英文名) SPANCRETE CORPORATION
2. 設立 1963年(昭和38年)3月23日
3. 資本金 32億9,590万円(2020年3月31日現在)
4. 役員  
代表取締役社長 執行役員 浮田 聡  
取締役 村山 典子  
専務執行役員 井上 孝広  
取締役 執行役員 柳田 洋明  
\* 取締役 坪井 哲明  
\* 取締役 大塚 直義  
\* 取締役 蒲野 宏之  
\*\* 常勤監査役 一瀬 茂雄  
\*\* 監査役 鈴木 誠  
\*\* 監査役 野澤 弘史  
執行役員 菊池 透  
執行役員 井上 卓郎  
執行役員 武田 喜之  
(2020年6月24日現在)  
\*は社外取締役です  
\*\*は社外監査役です
5. 本社 東京都文京区湯島2-4-3  
〒113-0034 TEL(03)5689-6311  
仙台営業所 宮城県仙台市泉区泉中央1-28-22  
プレジデントシティビル  
〒981-3133 TEL(022)347-3263  
宇都宮工場 栃木県宇都宮市平出工業団地8-5  
〒321-0905 TEL(028)661-2211  
岩瀬工場 茨城県桜川市中里字向ノ内275番地  
〒309-1346 TEL(029)675-5711
6. 取引銀行 みずほ銀行  
三菱UFJ銀行  
三井住友銀行  
みずほ信託銀行

## 主要取引先

- 設計事務所 三菱地所(株)・(株)日建設計・(株)日本設計・(株)佐藤総合計画・(株)日建ハウジングシステム・東電設計(株)・(株)松田平田設計・(株)梓設計・(株)今川建築設計事務所・(株)横河建築設計事務所・(株)ジェイアール東日本建築設計事務所・独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構・(株)久米設計・(株)石本建築事務所 他
- 商社 三菱商事建材(株) 他
- 建設会社 鹿島建設(株)・大成建設(株)・清水建設(株)・(株)竹中工務店(株)大林組・前田建設工業(株)・戸田建設(株)・西松建設(株)・東急建設(株)・(株)ピーエス三菱・鉄建建設(株)・(株)浅沼組 他

## 会社の沿革

- 1963年 3月 スパンクリート製造株式会社(旧社名)設立  
資本金1,000万円 代表取締役社長 村山好弘就任  
7月 資本金1億円に増資
- 1964年 2月 宇都宮第1工場屋外生産設備完備 試作開始 営業開始
- 1970年 10月 宇都宮第2工場建設完了 生産開始
- 1976年 5月 JISA6511(空胴プレストレストコンクリートパネル)制定される
- 1982年 12月 宇都宮工場 JIS指定工場となる
- 1984年 3月 スパンクリート合成床工法 建設大臣認定を取得  
7月 宇都宮第3工場生産設備完了 生産開始
- 1989年 5月 スパンクリート合成床工法 特許を取得  
11月 資本金14億9,759万円に増資  
11月 岩瀬工場建設完了 生産開始
- 1990年 2月 スパンクリート合成床工法 発明大賞受賞
- 1991年 2月 社名をスパンクリート製造株式会社から株式会社スパンクリートコーポレーションに変更  
4月 スパンクリート合成床工法 科学技術庁長官賞受賞  
9月 株式を公開(店頭) 資本金32億3,459万円に増資
- 1992年 4月 当社代表取締役社長 村山好弘 黄綬褒章受章(スパンクリート合成床の発明考案など業務精励)
- 1996年 7月 本社を文京区本郷4丁目に移転
- 2003年 8月 Jスラブ(組立床工法)財団法人日本建築センターの構造評定を取得
- 2005年 6月 原田穰代表取締役社長就任
- 2010年 6月 齊藤建次代表取締役社長就任  
7月 本社を文京区湯島に移転  
11月 岩瀬工場閉鎖  
生産設備を宇都宮工場に統合
- 2013年 6月 飯牟礼代表取締役社長就任  
6月 東日本旅客鉄道(株)とホームドア設置用床の共同特許取得
- 2015年 11月 コージェネレーションシステム導入
- 2016年 6月 浮田聡代表取締役社長就任
- 2017年 2月 新製品「クレストウォール」販売開始  
(高橋カーテンウォール工業(株)との共同開発)
- 2018年 11月 PCa(プレキャストコンクリート)試験製造開始

## 大株主

- 1 三菱商事(株)
- 2 日本スパンクリート機械(株)
- 3 村山 典子
- 4 日鉄SGワイヤ(株)
- 5 村山 知子



宇都宮工場